

令和5年7月定例教育委員会 会議録（概要版）

開催年月日	令和5年7月26日（水）	場 所	教育委員会室
開催時間	13時30分 ～ 15時25分		
出席者	教育長	今村 卓也	
	教育委員	垣内 正俊、是澤 利保、黒木 智美、児玉 広美	
	事務局	大平教育総務課長、若杉学校教育課長、星野スポーツ・文化振興課長、鍋島生涯学習課長、東図書館長、北住学校給食センター所長、三窪教育総務課総務企画係長、川越教育総務課総務企画係主任主事、竹之内学校教育課長補佐、	

1 開会 （13時30分）

2 前回の会議録承認

教育長から、6月の定例教育委員会の会議録の承認について諮られ、全員一致で承認された。

3 報告

（1）教育長報告

- 6/29 日向中学校学校訪問
- 6/30 社会教育委員・公民館運営審議会委員委嘱状交付/研修会講話
日向市議会定例会本会議（閉会）
- 7/1～7/2 市町村教育委員会教育課程研究会議準備
- 7/3 美々津小学校学校訪問
- 7/5 大王谷学園初等部学校訪問、新規・拡充事業各課ヒアリング（～7/6）
- 7/6 日向市就学支援委員会委嘱状交付式
中学生平和交流団（沖縄・長崎派遣）結団式
- 7/7 小松孝英氏・国立台湾師範大学名誉教授等市長表敬訪問
- 7/8～7/9 市町村教委教育課程研究会議準備
- 7/9 第10回台湾・日向国際交流演奏会
- 7/10 大王谷学園中等部学校訪問
- 7/11 北部地区市町村教育委員会教育課程研究会議
- 7/12 教頭会主催夏季研修会講話
- 7/13 塩見小学校学校訪問、日向市小中学校校長会
日向市出身画家 日高康志様 油彩画「奏」寄贈式
- 7/14 日知屋東小学校学校訪問
- 7/18 東郷学園学校訪問、日向市の未来を市長と語る会（東郷さくら館）

- 7/19 日向市の未来を市長と語る会（日知屋公民館）
- 7/20 県市町村教育委員会連合会総会・研修会
- 7/21 ほそしまみなと祭りオープニング・神事等
- 7/22 子ども落語全国大会予選大会・交流レセプション
- 7/23 子ども落語全国大会決勝大会、ほそしまみなと祭りフィナーレ
- 7/24 日向市の未来を市長と語る会（切島山1区公民館）
- 7/25 日向市図書館協議会、日向市の未来を市長を語る会（大王谷コミセン）

（2）教育委員報告

【児玉委員】

6/29 日向中学校学校訪問。朝の挨拶の様子から見せていただいたが、先生と生徒がフレンドリーに話をされている姿や、校長先生が子どもたちにたくさん話しかけ、それに応える子どもたちのすごく良い表情を見て、先生と生徒の距離が近く、すごく良いと思った。初めて校舎の中に入ったが、廊下が非常に広く、木をふんだんに使っていた。驚いたのは、子どもたちの靴箱の靴がきちんと揃えてあり、乱れている靴が1足もなく、きれいに整理整頓されていたこと。また、玄関に飾ってある絵や掲示板の絵や文字、図書室の本の展示の仕方など、すごく勉強させてもらった。授業ではタブレットを使っており、英語の発音を録音して、その発音が正しいかどうかをタブレットで判定してもらうような授業もされており、上手に使っているんだなと思った。子どもたちの表情がすごく良くて、挨拶もしっかりできるし、授業に取り組む姿もすごく良かった。

7/3 美々津小学校学校訪問。雨が激しく降っていて、子どもたちは大丈夫かなと心配したが、大丈夫だったので行かせてもらった。美々津小学校も初めて訪問したが、ここも廊下がすごく広かった。先生と児童の関係がすごく良い感じで、授業のやり方も子どもたちが集中できるようとても良い雰囲気だった。

7/19 日向市の未来を市長と語る会に出席。市民の方が、墓地のことなど質問されていた。遺骨を合同で埋葬する合葬墓は日向には造れないのか等、いろいろなことを市長に質問されており、時間が足りないぐらいだった。

7/25 日向市図書館協議会に出席。日向市の図書館はどうなるのかという質問もあり、やっぱりみんなが本に関していろいろと関心を持たれていることが分かった。また、子どもの健診のときに絵本を配るブックスタートという事業に取り組んでいるとのことだった。絵本を配ることで精一杯で、保護者の方と会話まではなかなかできず、反応は分からない、という話があったが、絵本は大人も読むべきだと思ってるので、すごく良い企画だなと思って聞かせていただいた。

【垣内委員】

7/6 日向市就学支援委員会委嘱状交付式に出席。教育委員という立場ではなく、幼稚園の代表者ということで委嘱状の交付を受けた。

7/11 北部地区市町村教育委員会教育課程研究会議に出席。準備が非常に大変だったのだなということを改めて感じた。ありがとうございました。

7/18 東郷学園学校訪問。子どもたちは、いつ登校したんだろうかと思うほど、とても静

かな様子で一日がスタートしていた。環境もとても整っていた。小中一貫校の強みというか、9年間の一貫性のある教育の推進が子どもたちに素直に出ているなど感じたところである。一生懸命に学ぶ素直な姿がとても印象に残った。自己有用感の育成とともに、上級生を尊敬するような、そういう子どもたちが育っているなど感じた。

7/20 財光寺中学校学校訪問。終業式の前日だったので、先生方も子どもたちも大変慌ただしい中だったのかなと思いながら参加させていただいた。幸せを感じる学校を目指して、ということで、学力向上や生徒指導など、4つの重点項目を推進していた。朝の登校時や廊下ですれ違ったときなど大変素直にピタッと止まって挨拶してくれて心強さを感じたが、授業の中で指導していただく側と学ぶ側の姿勢に、違和感まではないが、意識の違いを感じたところがあった。生徒指導の充実で、子どもたちの居場所作り、絆作りを目指されていたが、それとともに日々の授業の改善や相互理解の必要性といったところをご努力いただければと、私なりに感じたところだった。

【是澤委員】

7/5 大王谷学園初等部学校訪問。冒頭の学校経営説明については、例年通りモニターで各担当の先生方から丁寧に説明をしていただいた。大王谷学園は、例年、学年別の研修会を開くなど学年メンター方式を取られていて、先生方が横の連携を取られていたり、学校の情報をPDF化して内外に向けて効率よく情報発信をしていたりして、非常に良い取組だと思って以前から見ていた。今回注目したのは、地域との連携を主に取るために8月に開催されるという「語っちゃろ会」である。地域の様々な方に来ていただき、地域との連携、地域と学校の課題について語り合い、解決方法の糸口を見つけていきたいという話であった。新型コロナウイルス感染症が5類になったが、やはり地域との関係というのは、さらに子どもたちを成長させる上で必要なことだと思うので、こういう取組は素晴らしいなど思いながら話を聞かせていただいた。

また、「自らすすんで挨拶・後始末」ということで、「あいさつ集会」という会を児童が主体的に開いて、基本的な挨拶の仕方などをいろいろと学んだ、という話があった。とてもすごい取組だと思った。もちろん、挨拶があまりできていないという課題もあると思うが、皆が主体的に取り組んでくれるとすごく良い挨拶ができる学校になるのではないかと感じた。

その後も学校経営について話があったが、授業については、前半ではタブレットやパソコンなどのICT機器を使っているところはなかなか見られなかったが、後半は授業によっては効果的に使われている部分も結構あるのかなと感じた。導入3年目にして、ある程度メリハリというか、ここはこうやっていこう、という良い意味での線引きができてきたのではないかなと思いながら見ていた。ただ、自分が思うICTというのは、やはり職員の皆さんがある程度効率的に活用して、それが働き方改革に繋がるという、そこが一つの有効性だと思っているので、その辺がもっともっと有効的に使われていけばいいのかなと感じた。学校の経営理念に、「4つの幸せ」とあって、「児童生徒の幸せ」、「保護者の幸せ」、「学園の幸せ」、「職員の幸せ」、とあるが、大王谷学園で働けて良かった、という職員の幸せを得るために、ICTが一つのツールとしてしっかりと機能していけば良いのかなと思う。

7/14 日知屋東小学校学校訪問。冒頭、学校経営説明の中で、主に学力の向上や不登校・登校渋りの話、そして夢や希望を持って前向きに努力する児童の育成について話をしていた

だいたいが、自分が興味のある学習の向上やOJT、ICTの話がなかったので、その点については指導主事の先生が質問をし、そのやりとりの中で聞かせていただいた。学校訪問ではいろいろな学校を回るが、学校によって経営説明で取り上げる内容にばらつきがあるので、せつかならキャリア教育やICTについて冒頭の説明の中に入れていただくよう統一した対応が取れたら良いのではと感じた。指導主事の先生が質問してそれに答えて、という内容だともったいないと感じる。もっと詳しい内容を聞きたいと思うこともあるので、説明項目の均一化が図られると良いのではないかと思う。

授業風景については、とても落ち着いて授業が進められていた。すごく声の大きい先生がたくさんいらっしゃって、自分としてはすごく良いなと思って聞かせていただいた。ある学級では、給食や学習プリントなどの通常の係のほかに、誕生日の日に友だちをお祝いする係や、ランキングを付けて発表する係など子どもたちが主体的に係を作って活動していた。子どもたちがやりたいと思ったことを主体的にできるような仕掛けを作り、工夫して学級運営をされているということで、自分もいろいろな気付きや学びを得ることができた。

教育委員になって3年目だが、やっといろいろなことが見えてきたなと自分でも思いながら各校を訪問させていただいた。

【黒木委員】

7/10 大王谷学園中等部学校訪問。到着したときは朝の清掃活動中だったが、生徒たちが本当に気持ちの良い元気な挨拶をしてくれた。朝の清掃活動は、生徒たちが自主的に気が付いたところをやっているということで、自発的な活動が素晴らしいと感じた。私は4月の入学式にも行かせていただいたが、そのときに新入生の氏名点呼でちょっと元気がなかった子が数名いて気になっていたが、元気に登校しているという話を聞いてとても安心した。その後の授業においても、どのクラスも本当に静かに授業を受けていて、全体的に大変落ち着いた印象を受けた。ただ、深く考える・学び合う、というよりは、何か教科書の内容をそのまま書き写すような授業がいくつか見受けられたような感じがあり、もう少し子どもたちが主体となって学べる授業があると授業が活性化されていくのではないかなと思った。

この日は、ICTの活用という点も見えていただきたいという話が最初にあったが、昨年度の日向中学校のICTモデル授業公開研究会の様子などと比べると、静かに授業を受けてはいるが、全体的に受け身というか、一方通行というか、私の個人的な感じ方にはなるが、そのように感じた。日向中学校で感じた主体的に生き生きと学びに取り組む姿勢・意欲、そういう雰囲気を引き出せると一層良くなるのではないかと感じた。ただ、全体的には本当に非常に落ち着いて授業に取り組んでいて、校長先生をはじめとして大王谷学園ならではの一体感というか、そういったものもすごく感じたので、本当にそれだけで素晴らしいことだが、より上を目指せばというところで差し出がましい事ではあるがそのように感じたところである。

7/13 塩見小学校学校訪問。授業の前の朝読書の時間も見せていただいたが、落ち着いて静かに読書をしている姿が見られた。一方で、低学年では眠そうな児童や机に伏せて熟睡している児童もいて、基本的な生活習慣の乱れなのか、それとも少年団活動などによる疲れなのかと少し気になったところだった。また、暑さもあるのかもしれないが、その後の授業でも全体的に姿勢が崩れている児童が多いということが少し気になった。後で保健室の先生から伺った話では、週明けは少年団の子どもたちが疲れています、という話があり、適切な

活動時間や活動量について少年団としても考えていかなければならないなど感じた。

授業については、全体的に子どもたちがよく発言していて、特に6年生については積極的に取り組む様子が見られた。学校では、授業だけでなくキャリア教育の体験活動などにおいても、「問い」を持たせることを意識しているということは何度もおっしゃっていた。例えば、田植え体験の中で、田んぼにジャンボタニシがいたときに、どうしてタニシが発生したんだろう、とか、どうしたら解決できるだろう、ということ子どもにまず考えさせるところから始めるなど、様々な機会を捉えて学びを深めるようにしておられるという話があり、とても素晴らしい取組だと感じた。

7/20 県市町村教育委員会連合会総会・研修会に出席。林前委員の表彰式も行われ、その場に立ち合わせていただいたことを大変嬉しく思った。午後の研修会では、宮崎市のどんぐりこども診療所所長の糸数先生から、「デジタル社会を生きる子どもたちの心と体を守るために」というテーマで講演会があった。長時間のメディア接触の影響については、睡眠不足や視力低下などはよく言われているが、脳の発達、特に言語機能の発達に悪影響を与えることが分かっていることや、ネットやゲームの依存症は薬物依存と同等のダメージがあることなど、本当に心身に深刻な影響があることを詳しく教えていただいた。メディアとの付き合い方については、特に保護者になると思うが、周囲の大人もしっかり学んで、子どもたちに伝えていかなければならないと感じた。大変勉強になった。ありがとうございました。

【今村教育長】

委員の皆さんから詳しくいろいろなお話をしていただいた。聞いていて気になったのは、まずタブレット・ICTの活用について、それからキャリア教育の各学校でのばらつきについて、そして教科の授業が子どもたちに主体的に考えさせるような授業になっていないのではないか、どちらかという教え込むような活動になっているのではないかと、また一方で、子どもたちが主体的に学んでいる授業もあったのでは、という、大きくその3点が気になった。

タブレットについては、使っているところ、使っていないところとある。使えばなしでいいかというところでもないところもあり、使うことで教科指導は進んでいかないということもある。皆さんが率直に感じておられることがあれば意見を聞かせていただきたい。

【黒木委員】

タブレットについては、是澤委員もおっしゃっていたが、メリハリが大事なのかと思う。大王谷学園を訪問した際に、指導主事の先生方が、とりあえずタブレットを机の上に置くことから始めましょう、ということをおっしゃっていた。確かに、せつかく整備していただいたものなので活用していくことが良いことだとは思いますが、その授業の内容やタイミングもあるので、絶対に使わないといけないとなると、この授業では使わなくてもいいのかなと感じることもあった。逆に理科や数学の一次関数など、視覚的にわかりやすく伝えることができるのは本当にタブレット・ICTならではのなあと感じたところもあったので、本当に授業に合ったタイミング、使い方というのが大事なのかなと思う。

【是澤委員】

おそらく、タブレットが有効な教科というのはたくさんあると思う。例えば、社会や理科

などで画面を見ながら授業を進めていくことはとても有効であるように思う。ただ、問題をこなしていく上で、どうしてもタブレットは時間がかかるから、やっぱり今までのやり方でやった方が良いとか、それはそれでいっぱいあると思うので、そこをちゃんと切り分けて先生方が効率的に学習を進めていただいて、使う部分、使わない部分を決めていただければ良いのかなと個人的には思う。聞いたところによると、デジタル教科書を使って算数など進める際に、先生用のはまあまあ使えるけど生徒用のは使えない、とかそういったことでも有効な部分とそうでない部分というのがあるのかなと思う。

【児玉委員】

ICTに詳しくないのでよくわからないが、私が訪問した日向中学校は、モデル校になっていただけあって上手に使っていたのではないかなと思う。タブレットに向かって英語で発音したら、その発音が正しいのか正しくないのかをタブレットが教えてくれるなんて、すごいなと思った。それが一番印象に残っている。

【今村教育長】

子どもたちに考えさせる授業を、という話もあったが、タブレットの使用が学力向上に繋がっているのか、というのはやっぱり疑問があるということも感じられた。今言われているのは、一人一人個別化された学習ができて、それが最適の学習であって、それをタブレットで取り組むことによって、個別最適化された学びが成立して子どもたちの力がつくというもので、そこに向かわないといけないが、力がついていないんじゃないかという疑問もあるのかもしれない。使うタイミングや先生たちの使わせ方が、という話になると、一人一人の授業力が、ということになる。先ほど黒木委員も言われたように、本当にこれで考えさせる授業になっているのか、考えなければならないが、そういったことを含めて、垣内委員はどのように感じられたか。

【垣内委員】

タブレットが活用され始めて時間がある程度経ち、各学校の活用度に大分差が出てきているのかなと感じる。日向中学校では、子どもたちだけでどんどん使っている様子を見せていただき、これが当たり前なんだろうと感じたところもあったが、他の学校も訪問させていただくと、やはりその辺の差を感じたところでもある。子どもたちが自分で考えてやる部分というのは、ある面では先生方が段取ってあげてできるというか、そういうところもあるんじゃないかなという気がする。全てが全てICT、パソコン等を使えば良いということではなくて、やっぱり使い方次第というか、考える場面ではやはり従来の、と言ったら大変語弊があるかもしれないが、教え込む場面もやっぱり必要なのかなというところもある。活用したり、応用したりというところではICTをどんどん使っていくべきだと思うし、古い考えだと自分でも思うが、基礎基本はやっぱり教える側と学ぶ側という、そういう意識を基本的に持っておかないと、授業そのものが成立しない、とまではいかないが、やはりその基本となる部分は必要だと思う。それから、なぜ使うのかというそのところをしっかりと整理しておくことがまず必要なのかなと感じる。使えば学力が上がるというものではないと思うが、応用力や活用力などいろいろな知識がどんどん入ってくると思うので、そういう面では大いに活用し

ていただけると一番良いかなと思う。学校を訪問させていただいて特に感じるのは、活用できている学校と、そうでない学校との差が徐々に出てきているのかなというところである。

【今村教育長】

キャリア教育について、各学校でばらつきがあるという話があった。この頃少し感じるのは、地域の方、企業の方を呼んで、そこで話をさせていただいたら終わり、というようなケースが多いように思う。もう少し、なぜ、というところを考えながら話を聞いたり、やり取りをするようなことがないといけないし、今日の学びは、次の学年ではどうつながっていくのか、他の教科ではどうつながっていくのか、という展開が大切である気がして、単発でどんどんやっているだけになっているように感じる。「14歳のよのなか挑戦」も、4日間企業を訪問するが、事前にここでこんなことをやるとか、こんなことを学んで将来こうしたい、という意識を持って職場体験学習に臨み、途中でまたいろいろ変更しながら、最終的にこんな学びがあった、そういったことに繋がっていくことが大切ではないかと感じる。その辺りは何か意見はあるか。

【是澤委員】

先ほど教育長が言われた「14歳のよのなか挑戦」について、企業に行って学びを得るということだが、やっぱり会社の受入れ方にもかなり差があると思う。私の会社でも財光寺中学校の生徒を受け入れたりが、やっぱりせつかく来るからには、この子たちにどういう学びを得てもらおうか、ということをいろいろと考えてスケジュールを組む。しかし、自分の息子等が職場体験に行く中で、やっぱり企業によって受入れ方にばらつきがあることがどうしても気になる。ただ単に片付けしかしてないという企業もあつたりする。もちろん学校が、忙しいところにすみません、よろしくお願ひします、と企業にお願ひするときになかなか言い辛いのかもかもしれないが、こういうところは生徒たちに学ばせてほしいとか、そういうことをしっかりとお伝えした中で、子どもたちを学ばせる、というところをやっていくと、さらに深い学びになるのかなと思う。今はそういう形になっているのかもかもしれないが、ある程度、いろいろ学ばせて欲しいという要望も学校から出していただけるといいのかなと思う。

【黒木委員】

先ほど話した塩見小学校のジャンボタニシの件は、ジャンボタニシが発生した、どうしようか、というのを子どもたちに考えさせて、稲に良くないらしいからこれは駆除しないといけない、となったときに自分たちで駆除の方法を調べ、それでも上手くいかなかったら誰にお願ひしたらいいだろうとか、地域の人なのかそういうお仕事をされてる方なのかとかそういうところをどんどん繋げて繋げて、最終的には職場体験みたいなのところにも繋がっていくのだと思う。先ほど教育長がおっしゃったが、問いを持つこと、なぜどうしてとか、これはどういうふうになっているんだろう、どうしたらいいんだろうというところを考えながらやっていると本当に繋がっていくんだらうな、というのを塩見小学校の例で感じた。本当にいい取組だなと思う。先ほどの是澤委員の職場体験の話は、企業の側も大変だとは思いますが、みんな日向の子どもたちの先生なんだよ、というスローガンが掲げられているので、学校の先生がお願ひをされるというのもそうだが、受け入れてくださる方々も多分始めた当時はそういう

思いで始められたんじゃないかと思うので、子どもたちが将来日尚に残ってもらうためにとか、子どもたちがどんな職業に、あるいはどんな大人になってほしいか、というところを考えて取り組んでいただくと本当にありがたいなと思う。学びの場は職場体験だけではなく、授業から学ぶとか、1年生の頃からそれこそキャリアパスポートを積み上げていっているが、本当にいろいろなことを考えていく中で自分の将来の仕事や将来の姿を考えていくので、職場体験だけで終わるとか、地域の方を呼んで終わるとするのは非常にもったいないなと思う。そこからどんどん繋げていく、本当に長い長期的な取組というか、そういうことが本当に大事なんだろうなというのを感じる。

【今村教育長】

日向市のキャリア教育が県内でも一番進んでいて、キャリア教育を軸にしながら子どもたちを育てているよ、という割には、単発的なことがこの10年増えてきたような気がする。委員の皆さんがおっしゃるように、系統性のあるものとか、キャリア教育支援センターに開拓していただいている企業にも、事前の学習をしっかりとさせた上で受け入れていただくなど、そういったことがもう少しまくコーディネートできるといいなと思う。

【是澤委員】

私が先ほど発言したことについて、キャリア教育支援センターに登録されている企業は、受入れもしっかりされているのではないと思う。それ以外で学校が直接お願いしている企業も多々あると思うが、その部分が少し不安だと感じる。

【今村教育長】

実際のところ、「14歳のよのなか挑戦」に取り組んでいる学校は3校しかない。市内の中学生みんなが同じように取り組めるようにしたいが、なかなかそこまでの力が及ばないという状況である。何とか工夫していきたいと考えている。

【児玉委員】

キャリア教育になるのかわからないが、RORO船「HAKKOひなた」に細島小学校の子どもたちが見学に行かせてもらって、センコー運輸の工場の中も見せてもらったようだ。それが非常に好評で、今度は大人も行こうという話になり、昨日、細島小学校の先生や地域の方が船に乗せてもらい見学をさせてもらった。実際に働いているところを見せていただいて、大人の方もすごく感激していた。大人が感激するぐらいだから子どもたちも感激したんだろうなと思う。私は仕事で参加できなかったが、第2弾、第3弾を続けてもらいたいと思う。

【垣内委員】

仕事柄、幼稚園では中学校、高校生の生徒を職場体験で受け入れることがある。新型コロナウイルス感染症の影響で、なかなか再開の目処については厳しい部分もあるところだが、過去に高校生が来たときには、本当の私の主観でしかないが、目の色が変わる、輝いているというか、私は保育士になりたいんだ、幼稚園の先生になりたいんだという生徒はやっぱりその取組方が全然違う。そこまでの先生方の導き方が素晴らしいと感じる。また逆に、行か

なくちゃいけないので来ました、という生徒も中にはいた。キャリア教育というと、講師の方を呼んで話を聞いたり現場に行ったり、ということがキャリア教育になっているのかもしれないが、やはりそこに行くまでの先生方の導き方の部分が一番大きなステップなのかなと感じる。キャリア教育という言葉だけがどんどん進んでいるようなところもあるので、今一度、なぜこんなことをしないといけないのか、という子どもたちに一番に教えてあげべきところをもう1回確認していくことが必要なのかなと思う。

【今村教育長】

キャリア教育は捉え方としてはとても広くて、いろいろな生き方に関わる、将来に向かっての教育であるが、日向市で一番考えているのは、子どもたちが将来に対する目標を持つことである。自分はこういうところで生きていきたいという目標を持ち、その目標に向かってどんな力を蓄えることが必要なかを自覚して、それに向かって主体的に学んでいく、そんなことができればとても素晴らしいと思っている。

それは小さいうちは地域の人たちから遊びを教えてもらったり、昔はこうだった、という話を聞くところからも始まるし、児玉委員が言われたように社会科見学などでいろいろなところを見せてもらったり、話を聞かせてもらったりして学ぶということもある。キャリア教育支援センターに今お願いをしているのは、「14歳のよのなか挑戦」と「よのなか教室」である。

中学2年生という時期に行う職場体験と、全ての学年で取り組む「よのなか教室」では、私はこういうふうにしてこの仕事をして、こうやって生きてきましたという、そういったところをしっかりとお話をしてください、とお願いしている。それ以外にも、各教科で社会科見学に行ったり地域の人を呼んで話をしてもらうなどいろいろあるが、全てを含めてキャリア教育であって、それがどうも最近では単発的になっているんじゃないかと感じるころである。事務局の竹之内学校教育課長補佐の方から、タブレットの話とキャリア教育の話をしていただきたい。

【竹之内学校教育課長補佐】

私も各学校を訪問させていただき、改めて課題の整理ができたところである。子どもたちの学校生活の大半は授業であり、この授業改善なくして、いろいろな課題の解決はないと思っている。今後の研修について、例えば授業改善の一つの視点としてICTの活用であったり、キャリアの視点を持たせたいと考えている。

ICTの活用については、改めて、目の前のタブレットではこういうことができますよと周知をする部分と、各学校の活用の差を埋めていく作業が必要だと感じる。そこはやっぱり授業を見てもらったりとか、情報発信であったりとか、そういった部分からやっていく必要があると思っている。ただ、基本はやはり授業作りである。ICTを活用した授業と従来の授業とを比較して、ICTを使った方が子どもたちに「分かった」とか、「今日の授業面白かった」とか、それが次の学びに向かうとかそういった効果があった部分については、しっかり先生方に伝えていく必要があると思っている。

キャリア教育については、実は始まって20年近く経つが、いろいろな関係機関と連携を図って最も活発に取り組んでいるのは間違いなく県内では本市だと思っている。ただ、それが

やっぱりうまくまだ活用できていないところもあるし、しっかりできている部分もある。キャリア教育が最終的にはイベントではなく、そういったことを通して、子どもたちが、例えば学びであったり、例えば活動であったり、そういったものにしっかり意味を持たせることができるようになることが大切である。例えば、今日の授業は将来のここに繋がっていく、こんなことをしたいからこういう力が欲しいし、だから僕はこういった学びをしていく、そういったことを子どもたちがそれぞれ感じるのが大事なのかなと思う。今、点になっている取組を線にしていく必要がある。現在、そういった視点でまた研修を組み直す準備をしているところだ。先生方にもさらに意識付けしていきながら、よりシンプルに、そしてどこの学校でも展開できるような形に変えていく必要があると思っている。

4 議事

- 報告第4号 美々津公民館を仮に設置する期間を定める規則
(鍋島生涯学習課長が資料に沿って説明)

【今村教育長】

何か質問はないか。(質問なし)

では、この件については承認するというところでよろしいか。(異議なし)

- 議案第23号 令和6年度使用教科用図書について

本日の議案である議案第23号、令和6年度使用教科用図書についてだが、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令第14条により、使用教科図書の採決は9/1以降に公表するものとなっている。そのため、教育委員会会議規則第14条により議案第23号については非公開としたいがよろしいか。(異議なし)

それでは、議案第23号については非公開とし、審議の際は、傍聴者及び関係課以外の職員には退出していただく。

5 各課事業報告

【大平教育総務課長】

- 8/2～8/4 浦添市中学生平和交流事業
- 8/3～8/4 第14回九州地区市町村教育委員会研修大会
- 8/8～8/10 中学生平和交流事業(沖縄)
- 8/25 9月定例市議会(開会)

【若杉学校教育課長】

- 7/27 日向市人権・同和教育研究大会
- 7/30 令和5年度第48回日向市学校保健大会
- 8/4 授業力アップ研修会
- 8/8 三位一体～ひゅうが学びの学校～研修会
- 8/10～8/16 小中学校閉庁
- 8/16～8/22 日向市小学生ハワイ派遣出発式

8/21～9/4 日向市いのちの大切さを考える週間

8/24 第47回牧水かるた大会

8/28 2学期始業式

【星野スポーツ・文化振興課長】

8/19～8/20 牧水・短歌甲子園

(取材 Eテレ「NHK 短歌」～ことばのバトン～「高校生短歌夏の陣編」)

(取材 NHK 総合「あさイチ」特集「毎日が輝き出す！」短歌ライブ” のススメ)

8/18 Eテレ「沼にハマってきいてみた～短歌沼～」(再放送)

8/28 NHK 総合「あさイチ」特集「毎日が輝き出す！」短歌ライブ” のススメ」放送予定

9/17 第73回牧水祭

【鍋島生涯学習課長】

8/8～8/9 「Teenage Teaching 事業」

今年度から初めて実施する事業である。内容については、高校生が先生役となり、小学生に自分が取り組んでいるスポーツや文化活動を教えるというものである。8/8は日知屋東小学校でバドミントン、ダンス、バスケットを、8/9は富島高校で茶道、調理、情報処理を行うことになっている。両日の児童生徒の参加人数は今のところ61名である。この事業では、高校生にとっては自ら指導することでこれまでの取組を見直すことになり、キャリア教育にも繋がるのではないかと、小学生にとっては高校生との交流や、いろいろなスポーツや文化活動を体験することで、興味が広がるきっかけになる効果があるのではないかと考えている。また地域のボランティア活動をしている方に、児童等の見守りのご協力をいただくことになっており、人数に余裕のある種目については、一緒に参加していただくことにもなっており、世代間交流等も図れるのではないかと考えている。今年度は初めての開催ということで、モデル事業的な取組として、これまで多くのボランティア活動に参加されている富島高校と、児童生徒の会場の移動を考慮して、富島高校の近隣の日知屋東小学校を対象とした。準備にあたっては、地域学校協働活動推進員の椎葉さんにも小学校との調整などご協力をいただいたところである。

【東図書館長】

7/29 夏休み子ども学習会「図書館で考古学体験！」

8/13 夏休み子ども上映会

8/22 すばなしによるこわ～い話

9/2 富島高校「学校家庭クラブボランティア活動」受入

9/4～9/24 制限付開館

9/25～10/2 臨時休館

【北住学校給食センター所長】

対外的な行事等は今のところ予定されていない。

8/16に宮崎市の学校給食センターが公会計化について生の声を聞きたいということで、来

られる予定になっている。

【今村教育長】

何か質問はないか。

【是澤委員】

Teenage Teaching 事業について、高校生が先生役になって小学生にいろいろなことを教えるということで、地元の高校生のお兄さん、お姉さんが教えてくれることで子どもたちが地元の学校に対して興味を持つきっかけにもなるとすごく嬉しいなと思う。この事業は高校生の方からこういうことをしたい、という声があって始まったのか。経緯を聞きたい。

【鍋島生涯学習課長】

元々は当時の生涯学習課長補佐の治田が考えた企画である。委員のおっしゃる通り、地元の高校を知ってもらいたいという思いもあり、こういったことに取り組むのもいいのではないかとということで企画されたものだ。

6 その他

(1) 8月定例教育委員会の日程について

令和5年8月23日(水) 13時30分～

(2) 9月定例教育委員会の日程について

令和5年9月28日(木) 13時30分～

(3) その他

7 閉会 (15時25分)